

剣道衣、袴のお手入れ方法／洗濯の仕方／たたみ方（しまい方）

アドバイス＜その1＞

木綿生地は剣道衣は、洗剤での洗濯をすると縮みやすくなります。剣道衣は、裏返しにして水で手押し洗いをお願いします。天日干しすると生地が傷みやすいので、できるだけ陰干しにした方が長持ちします。

アドバイス＜その2＞

基本は水洗いですが、汚れのひどい時など洗剤を使用する場合は、液体タイプのものをお勧めします。柔軟剤入り等ソフトタイプにし、入れる量は少量にして下さい。また粉末洗剤は、洗濯後も剣道衣の織り目に洗剤が残る場合があります、乾かした後に部分的に白くなる場合があります。

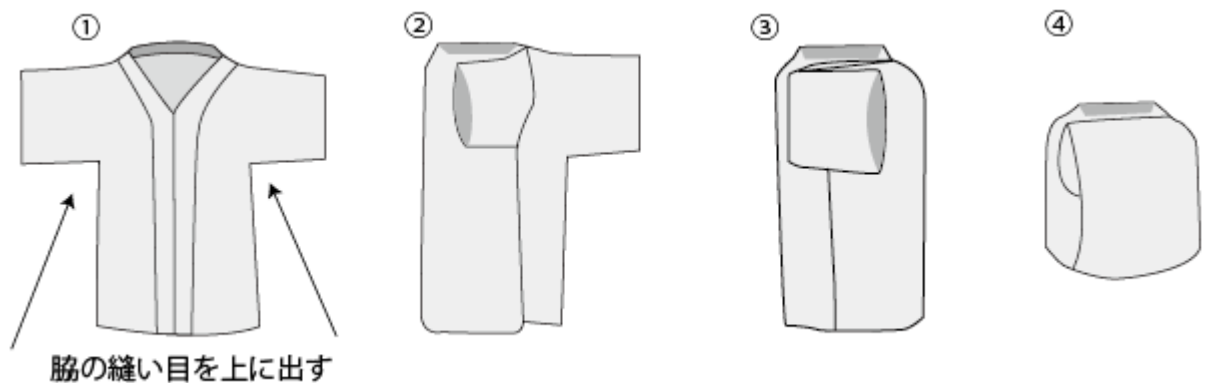
アドバイス＜その3＞

正藍染め剣道衣の場合は、木綿生地で特に洗剤での洗濯は藍落ちしやすくなります。ご購入時は、まず初めに一度、たらい等で水で手押し洗いして下さい。最初黄色の染め液、藍が落ちますがしばらくすると落ちつき藍の風合いも出てきます。

天日干しすると生地が傷みやすいので、出来るだけ陰干しした方が長持ちします。

正藍染め剣道衣は、洗うと黄色い液（藍染め液）や藍液がでます。ご購入時に色止めされる場合は、たらい等に水を張り、酢を適量（約 50～100cc）を混ぜ剣道衣を一晩浸けておきます。

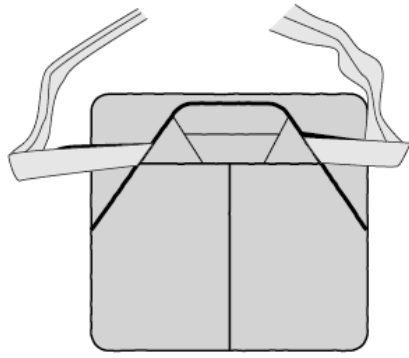
剣道衣のたたみ方（しまい方）



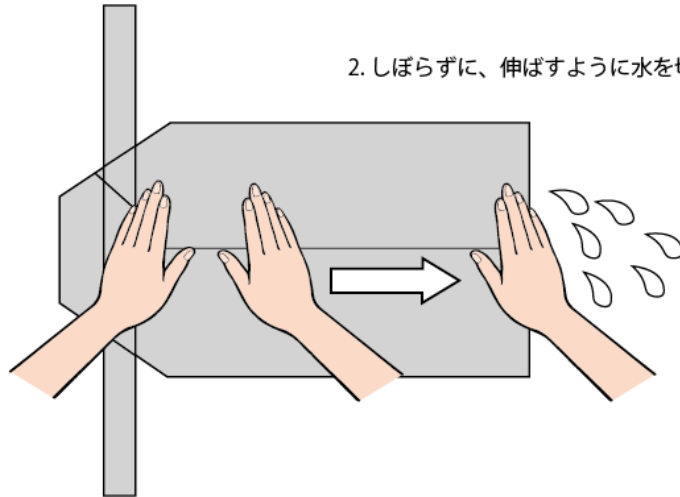
正藍染木綿袴お手入れ方法

『テトロン袴』は、洗濯機で洗うことができ、『ひだ』が無くなる心配もありません。

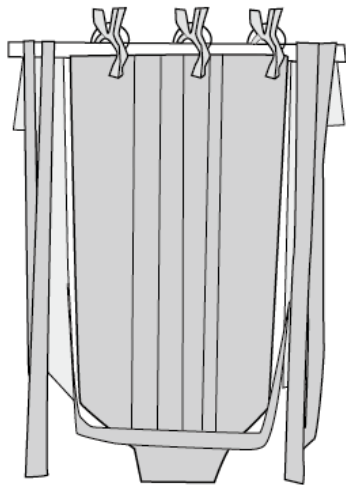
しかし、『正藍染袴』は洗濯機で洗うと藍がどんどん落ちてしまい、『ひだ』も無くなってしまうため手入れが大変になります。正しいお手入れをおすすめします。



1. たらい等で、たたんだ形で水で押し洗います。最初黄色の染め液、藍が落ちますが心配ありません。水洗いを重ねると落ちつき、藍の風合いも出てきます。



2. しぼらずに、伸ばすように水を切ります。



3. 『ひだ』をそのまま、逆さにして陰干しします。水洗いした袴は水を含んでいますので、洗濯バサミは強力なものを使用して下さい。

こうすると、『ひだ』の折り目がなくなる事も、細かいしわがよる事ありません脱水機で脱水して干すと細かいしわがより、アイロンは手ぬぐいを敷いてかけても光ってしまいます。

乾いてから、畳んで椅子の座布団の下に入れて座ったり、寝押しすると、『ひだ』がはっきりつきます。